

基礎原案での記載箇所		章項目	5.3.1	ページ	p.43	行	1行目
事業名	堤防補強		河川名	猪名川			
府 県	兵庫県	市町村	川西市		地先	東久代	

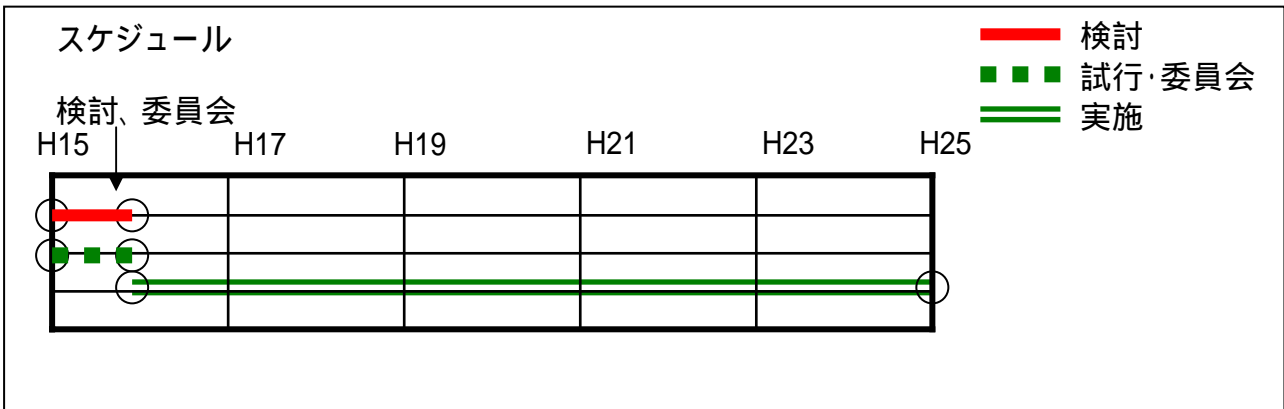
現状の課題
 現在の堤防は必ずしも防災構造物としての安全性について十分な信頼性を有しているとはいえない。破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大し続けており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等が破壊され、ライフラインが途絶する等、ダメージを受けることとなる。

河川整備の方針
 堤防補強
 高規格堤防の整備区間及びその他の区間において緊急な対策が必要な区間においては、堤防補強を実施する。併せて、対策効果のモニタリングを実施する。実施の優先度は、破堤したときの背後地への被害影響、堤防危険度を考慮して、緊急堤防補強区間を設定し優先的に実施する。



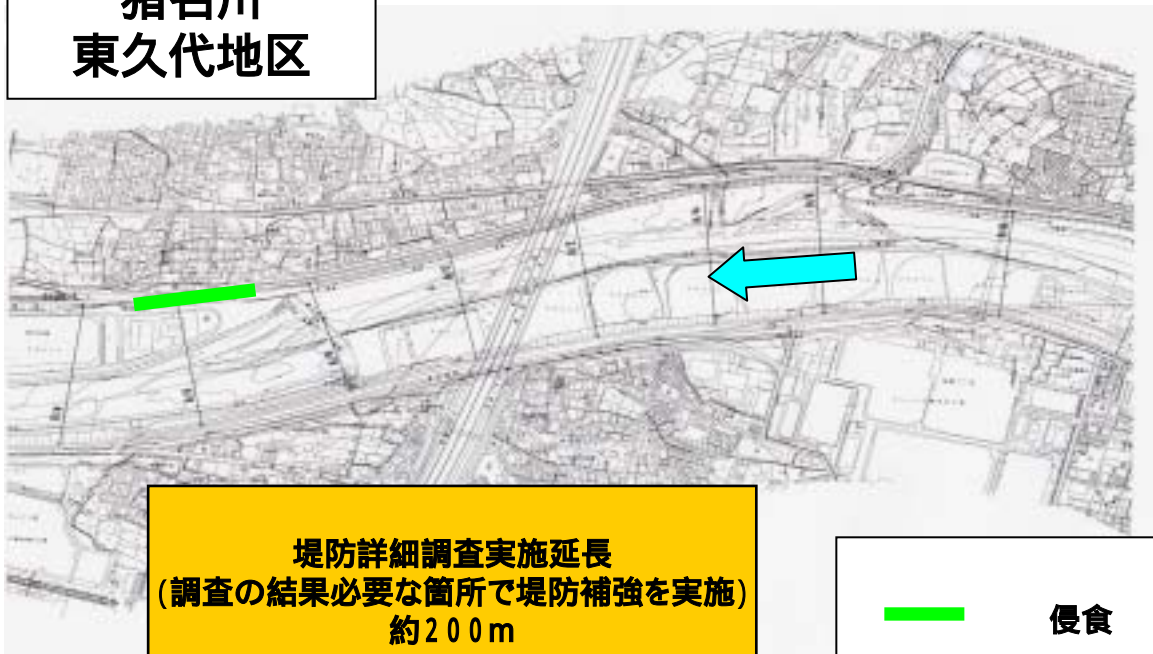
具体的な整備内容
 堤防詳細調査実施延長
 (調査の結果必要な箇所にて堤防補強を実施) 約200m

事業の数量・諸元等
 侵食対策 約200m



平面図

猪名川
東久代地区



堤防詳細調査実施延長
(調査の結果必要な箇所で堤防補強を実施)
約200m

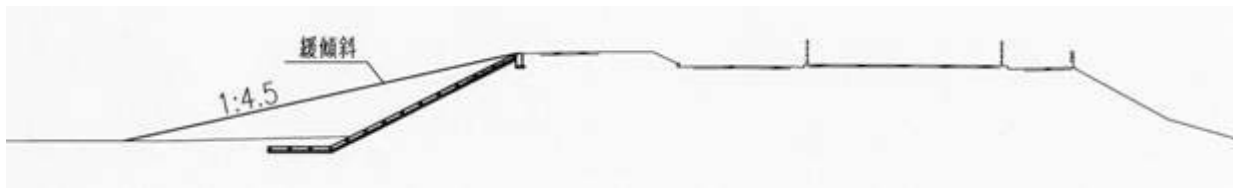
— 侵食

横断面図

< 堤防補強の一例 >

川表側

川裏側



実施にあたり現地に則した具体的補強手法を「淀川堤防強化検討委員会」(H15.4設立)で早急に検討する。

整備効果

堤防補強により、破堤による洪水被害の回避・軽減を図る。

現状河道でS35.8月洪水実績降雨で計算した場合の流量による想定被害

被害額	1,200	億円
浸水面積	220	ha
被災人口	17	千人
浸水家屋	60,000	戸



現地写真

上空



地上



(猪名川右岸8.6km付近)

基礎原案での記載箇所		章項目	5.3.1	ページ	p.43	行	1行目
事業名	堤防補強		河川名	猪名川			
府県	大阪府	市町村	池田市		地先	神田	

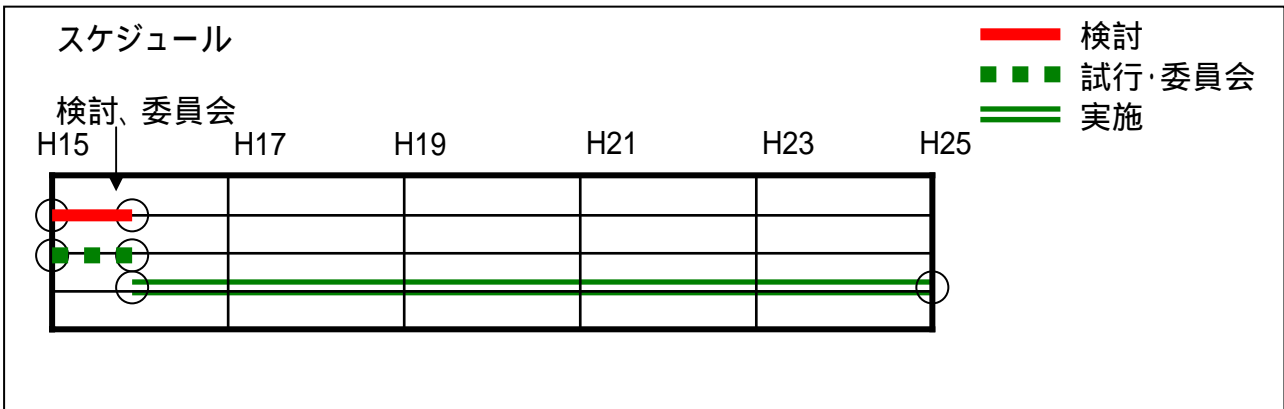
現状の課題
 現在の堤防は必ずしも防災構造物としての安全性について十分な信頼性を有しているとはいえない。破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大し続けており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等が破壊され、ライフラインが途絶する等、ダメージを受けることとなる。

河川整備の方針
 堤防補強
 高規格堤防の整備区間及びその他の区間において緊急な対策が必要な区間においては、堤防補強を実施する。併せて、対策効果のモニタリングを実施する。実施の優先度は、破堤したときの背後地への被害影響、堤防危険度を考慮して、緊急堤防補強区間を設定し優先的に実施する。



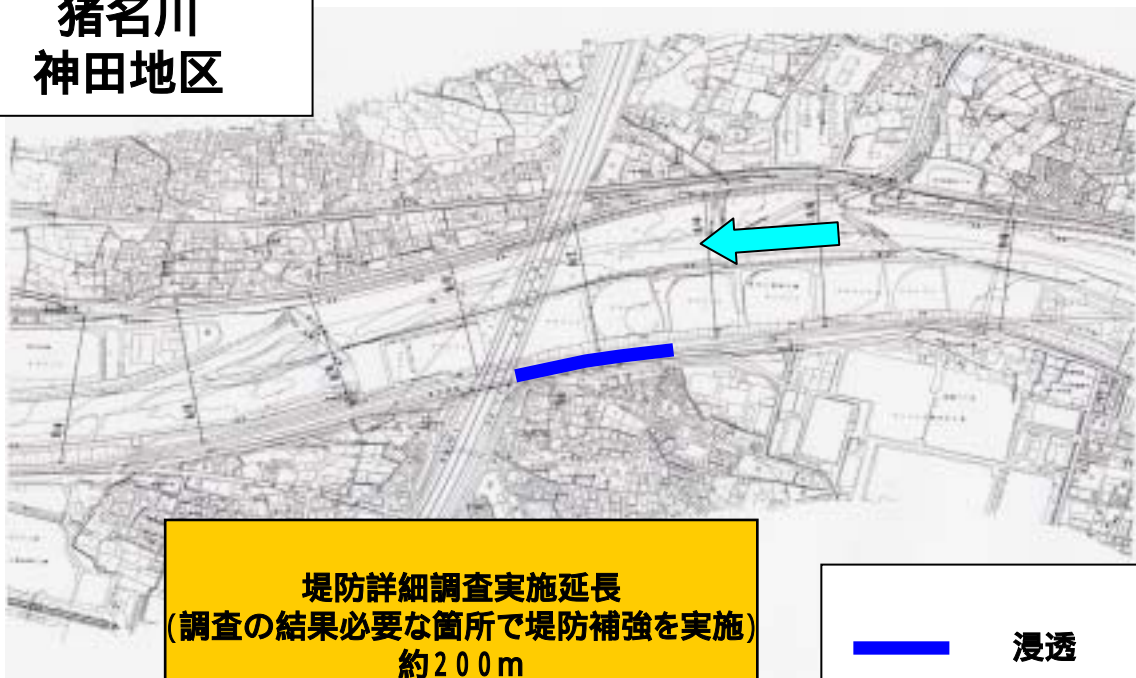
具体的な整備内容
 堤防詳細調査実施延長
 (調査の結果必要な箇所にて堤防補強を実施) 約200m

事業の数量・諸元等
 浸透対策 約200m



平面図

猪名川
神田地区



堤防詳細調査実施延長
(調査の結果必要な箇所にて堤防補強を実施)
約200m

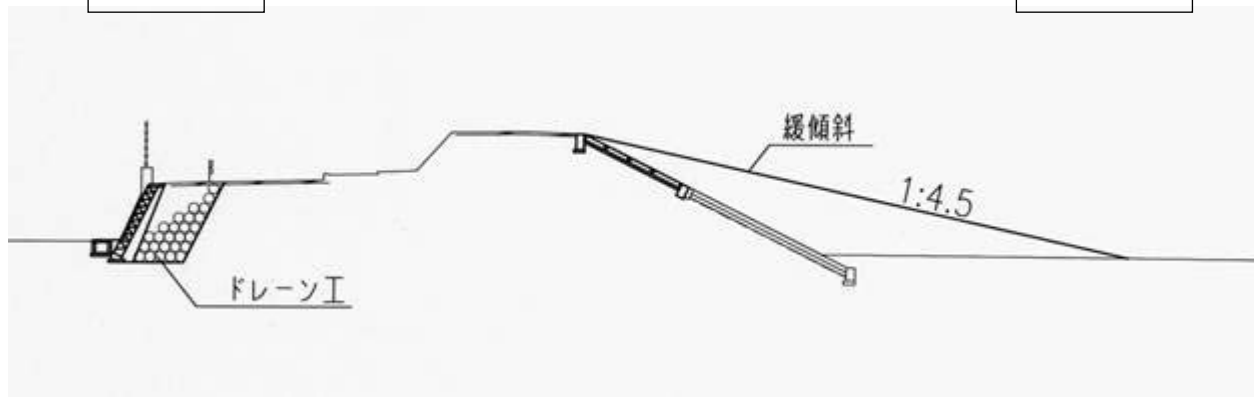
— 浸透

横断面図

< 堤防補強の一例 >

川裏側

川表側

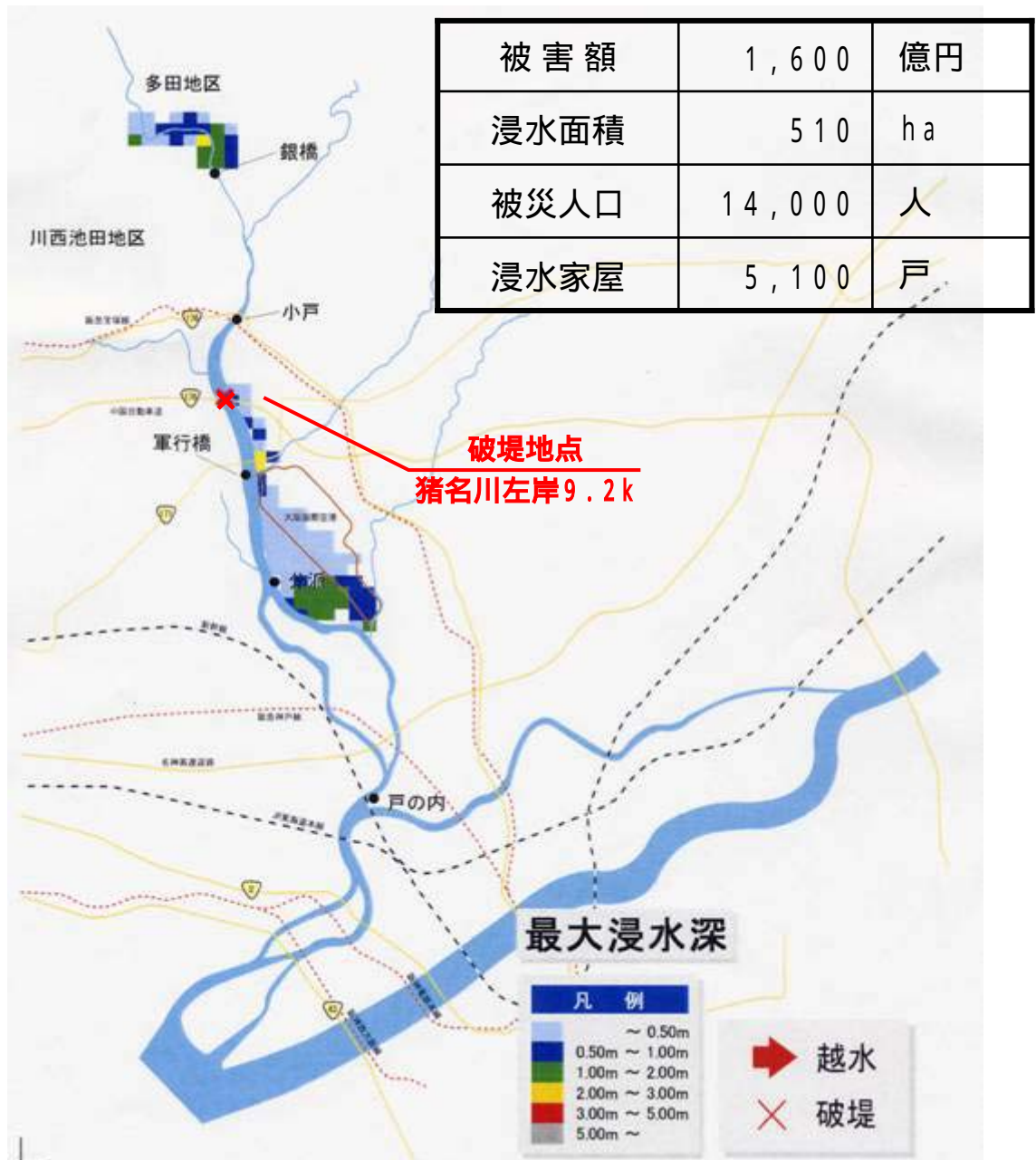


実施にあたり現地に則した具体的補強手法を「淀川堤防強化検討委員会」(H15.4設立)で早急に検討する。

整備効果

堤防補強により、破堤による洪水被害の回避・軽減を図る。

現状河道でS35・8月洪水実績降雨で計算した場合の流量による想定被害



現地写真

上空



地上



(猪名川左岸9.2km付近)

基礎原案での記載箇所		章項目	5.3.1	ページ	p.43	行	1行目
事業名	堤防補強		河川名	猪名川			
府県	兵庫県	市町村	尼崎市		地先	高田・小中島	

現状の課題

現在の堤防は必ずしも防災構造物としての安全性について十分な信頼性を有しているとはいえない。破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大し続けており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等が破壊され、ライフラインが途絶する等、ダメージを受けることとなる。

河川整備の方針

堤防補強

高規格堤防の整備区間及びその他の区間において緊急な対策が必要な区間においては、堤防補強を実施する。併せて、対策効果のモニタリングを実施する。実施の優先度は、破堤したときの背後地への被害影響、堤防危険度を考慮して、緊急堤防補強区間を設定し優先的に実施する。

位置図



詳細調査実施箇所

具体的な整備内容

堤防詳細調査実施延長

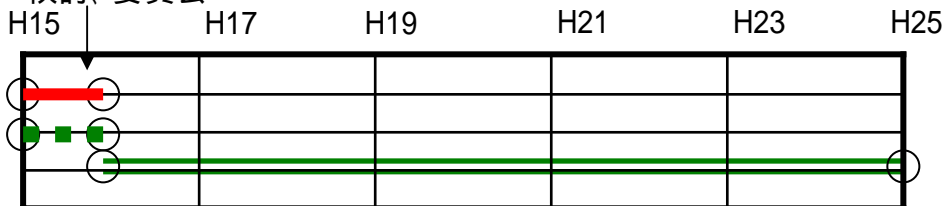
(調査の結果必要な箇所にて堤防補強を実施) 約900m

事業の数量・諸元等

浸透対策 約900m

スケジュール

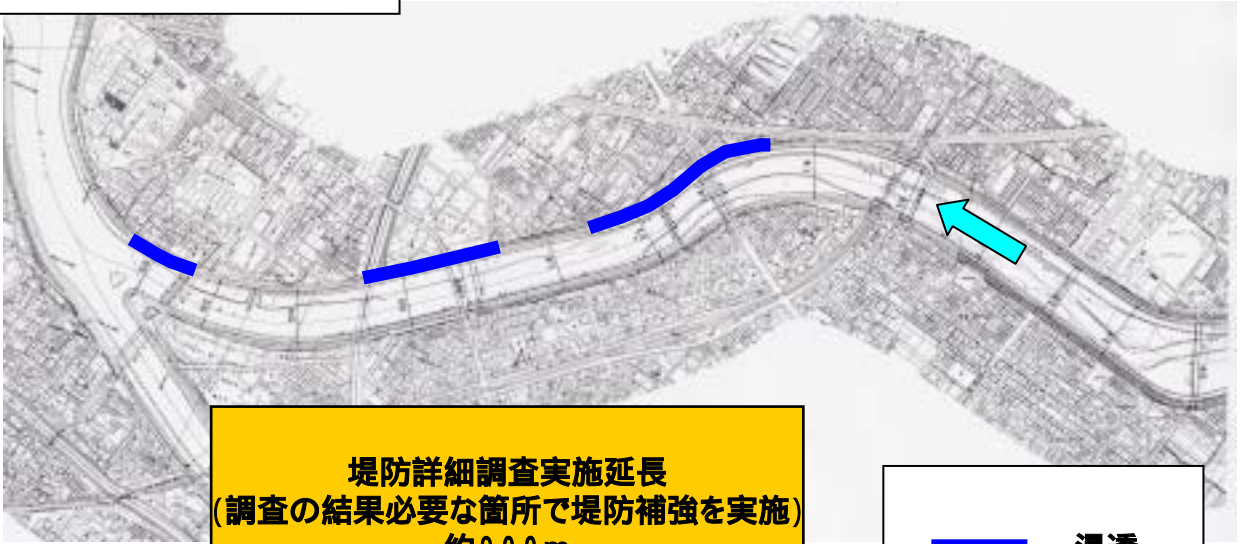
検討、委員会



- 検討
- 試行・委員会
- ▬ 実施

平面図

**藻川
高田・小中島地区**



**堤防詳細調査実施延長
(調査の結果必要な箇所で堤防補強を実施)
約900m**

— 浸透

横断面図

< 堤防補強の一例 >

川表側

川裏側



実施にあたり現地に則した具体的補強手法を「淀川堤防強化検討委員会」(H15.4設立)で早急に検討する。

整備効果

堤防補強により、破堤による洪水被害の回避・軽減を図る。

現状河道でS35・8月洪水実績降雨で計算した場合の流量による想定被害

被害額	5,000	億円
浸水面積	1,100	ha
被災人口	114	千人
浸水家屋	45,000	戸



現地写真

上空



地上

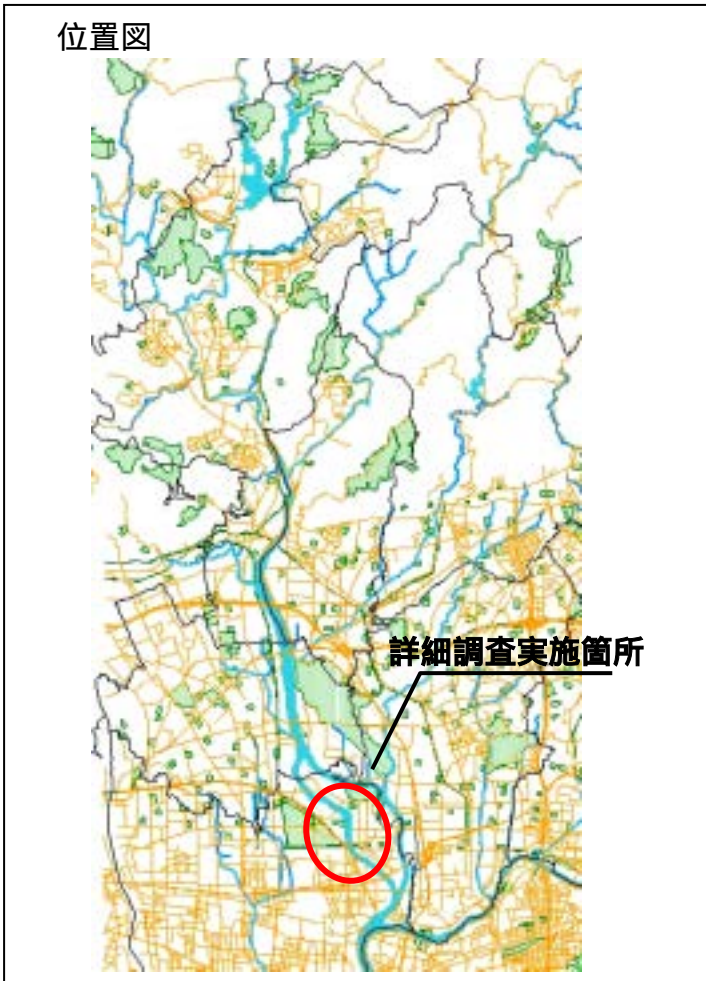


(藻川右岸1.2km付近)

基礎原案での記載箇所		章項目	5.3.1	ページ	p.43	行	1行目
事業名	堤防補強		河川名	猪名川			
府 県	兵庫県	市町村	尼崎市		地先	東園田町・中食満	

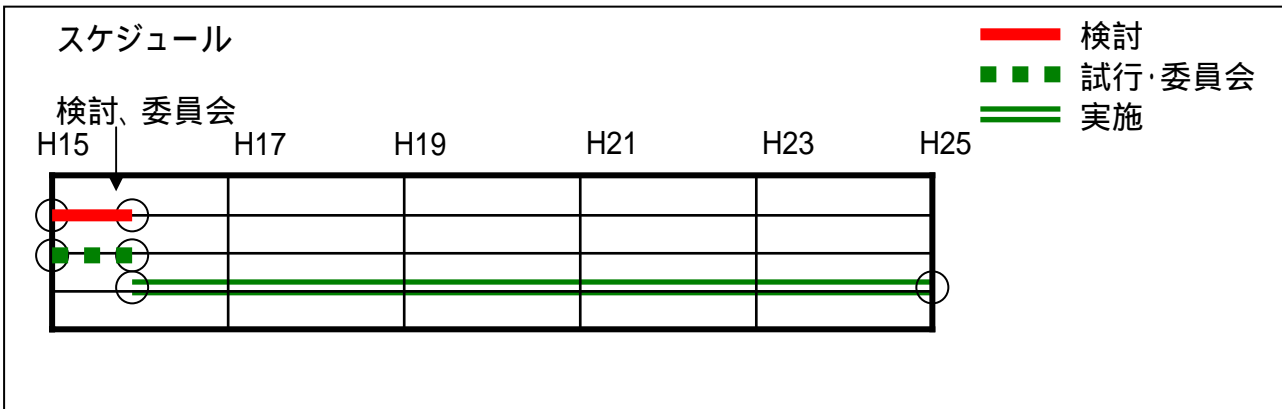
現状の課題
 現在の堤防は必ずしも防災構造物としての安全性について十分な信頼性を有しているとはいえない。破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大し続けており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等が破壊され、ライフラインが途絶する等、ダメージを受けることとなる。

河川整備の方針
 堤防補強
 高規格堤防の整備区間及びその他の区間において緊急な対策が必要な区間においては、堤防補強を実施する。併せて、対策効果のモニタリングを実施する。実施の優先度は、破堤したときの背後地への被害影響、堤防危険度を考慮して、緊急堤防補強区間を設定し優先的に実施する。



具体的な整備内容
 堤防詳細調査実施延長
 (調査の結果必要な箇所にて堤防補強を実施) 約1000m

事業の数量・諸元等
 浸透対策 約1000m



平面図

**藻川
東園田町・中食満地区**



**堤防詳細調査実施延長
(調査の結果必要な箇所で堤防補強を実施)
約1000m**

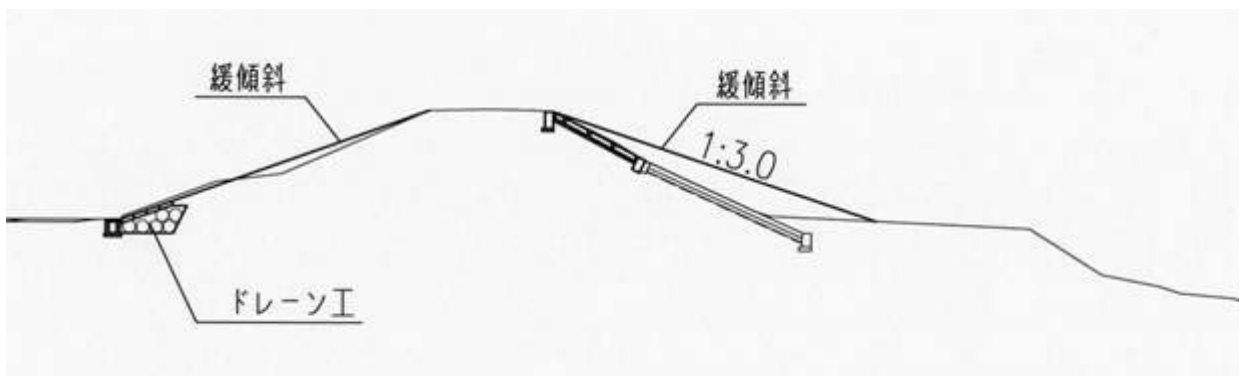
— 浸透

横断面図

< 堤防補強の一例 >

川裏側

川表側



実施にあたり現地に則した具体的補強手法を「淀川堤防強化検討委員会」(H15.4設立)で早急に検討する。

整備効果

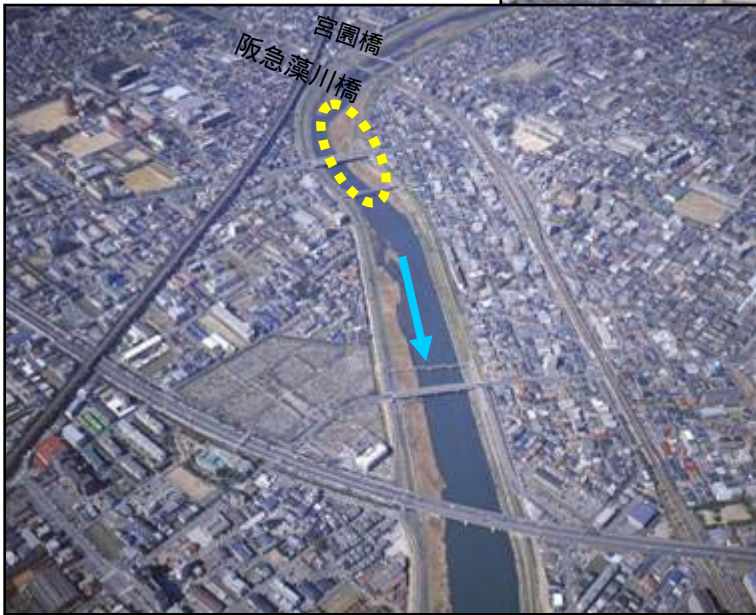
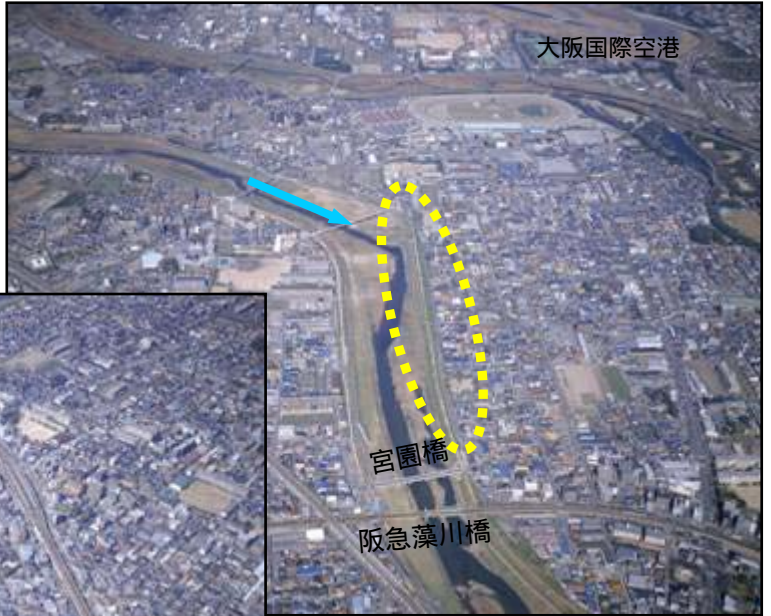
堤防補強により、破堤による洪水被害の回避・軽減を図る。

現状河道でS35・8月洪水実績降雨で計算した場合の流量による想定被害



現地写真

上空



地上

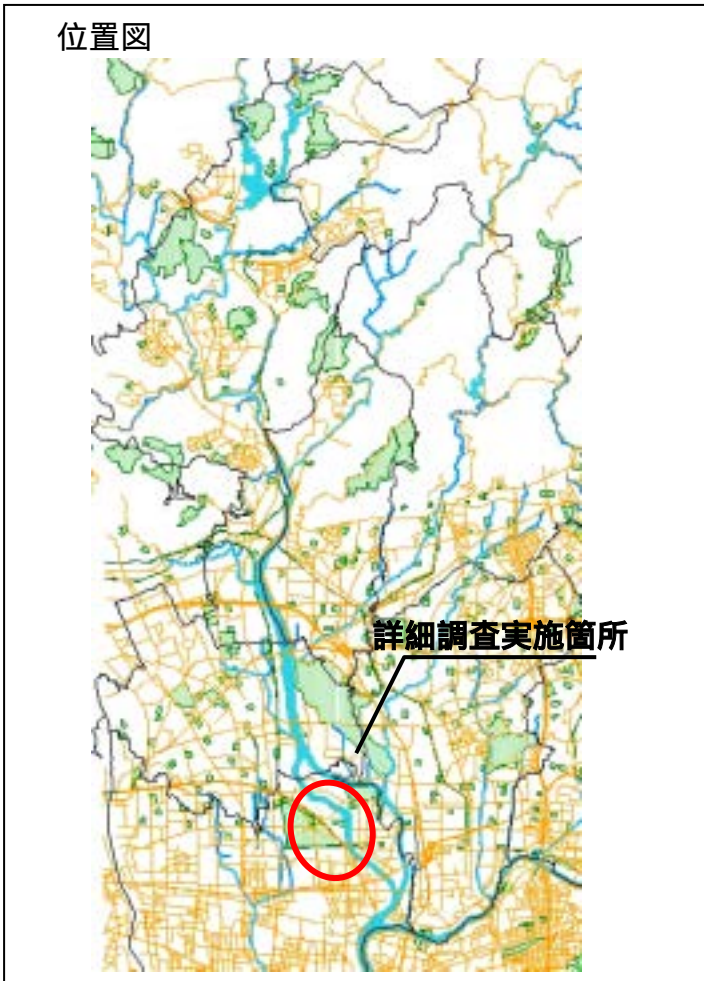


(藻川左岸2.4km付近)

基礎原案での記載箇所		章項目	5.3.1	ページ	p.43	行	1行目
事業名	堤防補強		河川名	猪名川			
府 県	兵庫県	市町村	尼崎市		地先	瓦宮・食満	

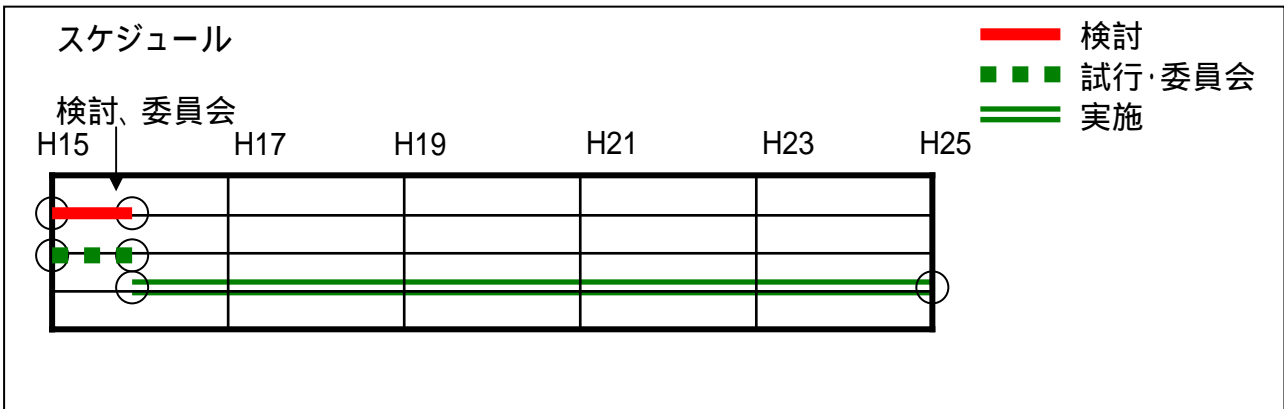
現状の課題
 現在の堤防は必ずしも防災構造物としての安全性について十分な信頼性を有しているとはいえない。破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大し続けており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等が破壊され、ライフラインが途絶する等、ダメージを受けることとなる。

河川整備の方針
 堤防補強
 高規格堤防の整備区間及びその他の区間において緊急な対策が必要な区間においては、堤防補強を実施する。併せて、対策効果のモニタリングを実施する。実施の優先度は、破堤したときの背後地への被害影響、堤防危険度を考慮して、緊急堤防補強区間を設定し優先的に実施する。



具体的な整備内容
 堤防詳細調査実施延長
 (調査の結果必要な箇所で堤防補強を実施) 約800m

事業の数量・諸元等
 浸透対策 約800m



平面図

藻川
瓦宮・食満地区

堤防詳細調査実施延長
(調査の結果必要な箇所で堤防補強を実施)
約800m

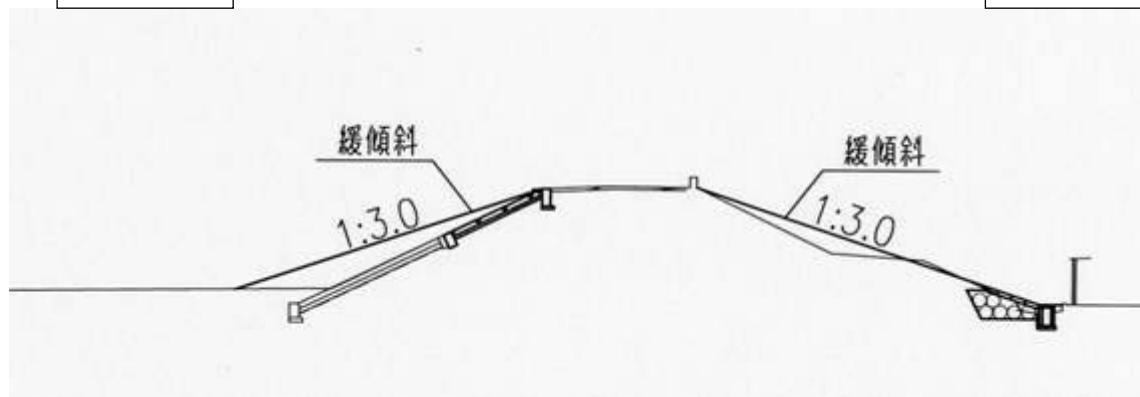
— 漫透

横断面図

< 堤防補強の一例 >

川表側

川裏側

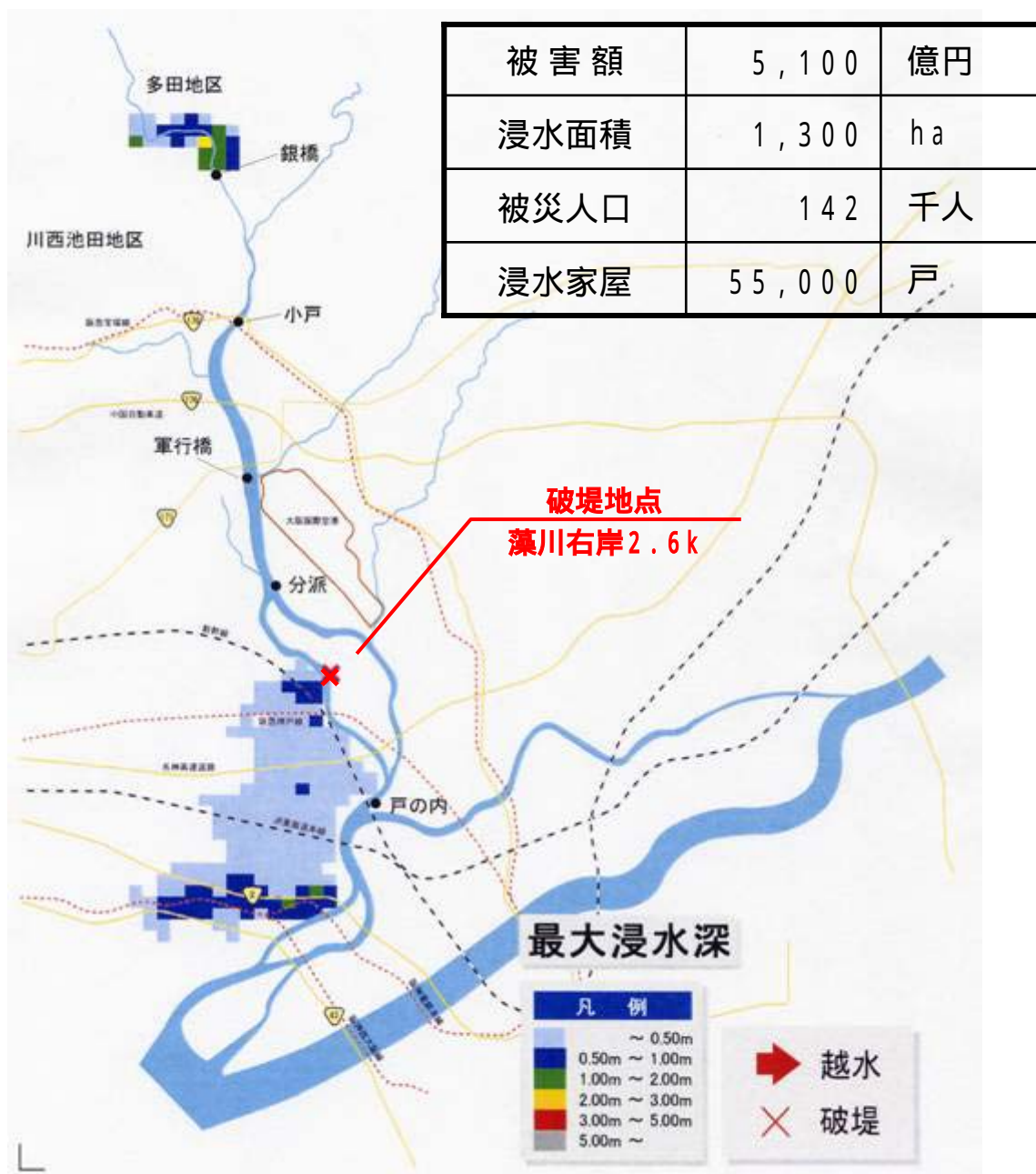


実施にあたり現地に則した具体的補強手法を「淀川堤防強化検討委員会」(H15.4設立)で早急に検討する。

整備効果

堤防補強により、破堤による洪水被害の回避・軽減を図る。

現状河道でS35.8月洪水実績降雨で計算した場合の流量による想定被害



現地写真

上空



地上



(藻川右岸2.8km付近)